

スピーチ

留学生の見た平野

〔司会〕

石本倫子（センター リサーチ・アシスタント）

石本：今日は、この会場に9名の留学生が来てくれています。この9名が、平野に来るのは実は2回目になります。先日は、総勢28名の留学生と一緒にこの平野に遠足にまいりました。そのときには、ただ町を歩いてもらうだけではなくて一人一人に小さな簡易カメラを配りまして、思いの写真を撮ってもらいました。そして、その中から自分が一番よいと思った写真を一枚選んで、コンテストに応募してもらいました。

参加した留学生のほとんどが日本に来るのは初めてでした。関西には京都や大阪などいろいろな観光地がありますが、今回は、生活の場として大阪とその歴史を肌で感じられる場所ということで、ぜひこの平野の町を歩いてもらいたいと考えて一緒に遠足をしました。

それで、今日再び平野に来てくれたこの9名は、もう一回平野を歩きたいという平野ファンの留学生です。今日は平野を歩いて感じたこと、写真を撮りながら思ったことを一人ずつ日本語で頑張ってスピーチをしていただきたいと思います。

1. セシル・ブルー



こんにちは。日本語、ちょっと間違ってもわからない。セシルです。パリに住んでいます。私の専門は映画です。マスター論文を書くために日本にいます。巨匠黒澤の映画について書きます。よろしくね。私の写真は、「フォールディングスクリーン」です。ありがとう。

2. マリア・ゲーデ



こんにちは。私はマリアです。私はデンマーク出身です。専門は社会学です。マイピクチャーは大阪の道、ストリート・オブ・オオサカ。私は、この写真を選んだ理由は、すべての人に関係がある

写真だと思ったんです。

3. アレクサンダー・ブシェー

こんにちは、皆さん、私はアレックスです。写真についてどうもありがとうございます。私の写真は特別じゃない。僕の写真は普通の写真、日本はそのまま特別です。僕は日本が好きです。ありがとう。



4. ファイーザ・ブッダール

私はファイザーです。21歳です。私はパリに住んでいます。私は映画の勉強をしています。日本語と日本の文化を勉強するために日本に来ました。北野武の映画について、マスターの論文を書きたいです。私の写真は上手です。ありがとうございました。



5. アントニー・リエベン

こんにちは。アントニーと申します。フランスから来ました。日本語と韓国語を勉強しています。この私の写真は、私が撮った写真の中で一番きれいだと思います。なぜなら、ほかの写真は私の指がカメラの前に入ってしまったから、それだけ。よろしくをお願いします。



6. 柳知賢^{ユウチヒョン}

こんにちは。韓国のソウルから来ました柳知賢と申します。機械工学をもっと勉強するために日本に来ました。若い人などで、にぎやかなところしか行ってなかったんですけど、ここ平野に来て特に大念仏寺が本当に落ち着いて、もう一回来たいなどと思って今回参加させていただいたんです。それで、また来たいんですよね。よろしくをお願いします。



7. 韓一瑾^{カンイツキン}



皆さん、こんにちは。私は中国北京外国語大学から参りました韓一瑾と申します。私は25歳です。まず、今回の平野の見学にお招きいただいた関西大学なにわ・大阪文化遺産学研究センターに心から感謝いたします。

本物の日本に触れること、これは私が日本語を学び始めて以来、ずっと抱いていた長年の夢だったのです。できるだけ多くのところへ行って、さまざまな日本文化を味わうことは私の留学目的です。大阪というと、東京と同じような国際都市という印象を持っていました。にぎやかな商店街、たくさん的高層ビル、速い生活リズム、それが大阪だと思っていました。「大阪の古い町で暮らしている人々の生活態度とは一体どういうものか」「大阪は、日本のほかのところと比べて特殊な文化があるか」という疑問を持って、今回の「大阪を探検しよう!」という活動に参加しました。10月5日は一日中、私は平野のお寺、神社、博物館などいろんなところを訪れ、大きな収穫がありました。静かな町、親切な人びと、伝統的な建物、それは大阪文化を伝えてくれました。一昨年前の大阪市の姿を展示するビデオ、古いおまんじゅう屋さん、お寺の法事、それはすばらしく忘れがたい記憶としてしっかりと心にとどめておきます。

最後に、今回の活動を企画してくださった方がたに、もう一度心から感謝いたします。ありがとうございました。

8. ジュリアン・シメオン



こんにちは、皆様。ジュリアンと申します。パリから参りました。パリ第7大学から。2週間前に平野に参加してうれしかったです。写真の対象は杭全神社でした。「平和」というタイトルをつけました。神社の境内を撮ったとき、穏やかさと安全さを感じたきっかけにその写真を撮りたかったです。私にとって、自然と神様は大体同じものです。そういう感じを写真にしたかったということです。平野の伝統的な雰囲気を味わわせていただいて、どうもありがとうございました。

分の願いを神様に祈るところという気がしました。ですから、一つ一つの紐が、一人一人の願いとと思いました。だから、すべての人々の願いが全部叶うようにこの写真を撮りました。ありがとうございました。

石本：ありがとうございました。もっといろいろなことを感じたと思いますが、少し緊張して全部は語れなかったかもしれませんが。会場の後ろに、本日来られなかった留学生の写真とレポートをパネルとアルバムで展示しておりますので、ぜひご覧ください。そこからも留学生の気持ちを感じ取っていただければと考えています。本日は閉会にあたり写真コンテストの表彰式を行なう予定です。留学生も最後までおりますので、ぜひ留学生と話をしていただければと思います。よろしくお願いたします。

9. 宋潤珉



こんにちは。韓国から来た宋潤珉と申します。私は今回が3回目の日本ですが、何か関東地方とか北海道よりこの関西地方がもっと魅力的なところだと思います。まだ、日本語は苦手ですが、もっと頑張りたいと思います。

私の写真は何かお堂の端で、糸で強く縛っていて、なぜそのような糸が縛られているのだろうかと思いました。ふっと思いついた考えが、ここは神社だから、いろいろな人々がここに来て何か自



写真コンテストの様子



留学生への案内チラシ